

【研究開発の名称】小型・低価格のバイオセンシング技術を活用したトイレ取付型健康チェック装置とサービスの開発(2015年度採択課題)

■ 開発の経緯・概要

- 日本人の約60%が生活習慣病で亡くなるが、その大半は疾患の発見が遅れ、気付いた時には病状が進行していたというケースである。
- 人は自覚症状が無ければ病院で検査を受けることは無く、平日に通院することは難しい。健康管理を行う製品等は、手間が掛かり、継続性がない。
- 我々が開発した小型・低価格の独自バイオセンシング技術を活用し、尿の生化学分析による健康チェックを行い、検査結果をスマートフォンに通知する健康管理サービスとデバイスの開発を行う。
- 本デバイスおよびサービスを普及させることにより、生活習慣病の早期発見につなげ、疾患の深刻化を防ぎ、医療費の適正化への貢献を目指す。

■ 現状の成果

- デバイスのバージョンアップ。センサーの小型化。
- 特許の取得 特許取得第0006100447号、米国、欧州にて国際特許出願中
- 販売契約の検討開始

■ 会社概要

	設立時 2014年6月	採択時 2015年11月	現在 2018年3月
資本金	4百万円	7百万円	7百万円
従業員数	0人	4人	7人

■ I-Challenge!活用による成果

【PoCの成果】

- 総合商社における実証実験
- 期間 2016年8～10月 80名
- 解析アルゴリズム精度向上の為のデータ採取
- 耐久性の検証、ユーザー継続率96%の結果
- サービスに関するフィードバック(企業、個人ユーザー)

【I-Challenge! ここがすごい!】

- 研究開発や製品かにかかる資金の提供だけでなく、事業化支援機関による事業化に向けたアフターフォローが手厚い。

【事業化支援機関からの支援内容】

[事業支援機関:(株)ジャフコ]

- 資本政策・事業内容等のアドバイス
- 顧客・事業提携先の紹介
- インキュベーションプログラムの紹介販売検討顧客の紹介

①カードリーダー

NFCカードをかざすことで、誰が測定したかを判断します。社員証やSUICAなどの交通系カードなど、好きなものをご利用いただけます。



②デバイス本体

床や棚の上に置いて設置します。クラウドに測定データを送信します。個人情報デバイス上に残ることはありません。



③センサー

吸盤を使って取り付けるので、便器を傷つけることはありません。先端だけを水につけます。

